



第 10 回 稲門建築会特別功労賞

吉村靖孝氏 (苗 H07、院 H09、博 H14)



表彰理由：

古谷研究室で大学院を修了後、文化庁の新進芸術家在外派遣制度により、今日では知らぬ人のない当時は新進気鋭の建築家グループであったオランダの MVRDV のアトリエで 2 年間の研修を行った。帰国後は彼らの国内プロジェクトでの共同を続けながら、自らの事務所を立ち上げ、国内の独立住宅から海外における量産住宅、あるいは老舗旅館のリノベーションなど、極めて幅広い建築やプロダクトのデザインを手がけ、若い世代ばかりではなく多くの人々の注目を集める建築家として、広く世に知れた存在となっている。2006 年には住宅作品「ドリフト」により若手建築家の登竜門である第 22 回吉岡賞受賞するなど、稲門建築の名を世に高める上でも大きな貢献をしており、稲門建築会特別功労賞・奨励賞に相応しいものとして推薦する。
(推薦者：古谷誠章)

◎経歴：

- 1999 年～ 2001 年 文化庁芸術家在外研修員・MVRDV(オランダ)在籍
- 2001 年 SUPER-OS 設立
- 2005 年 「フィズ」にてグッドデザイン賞
「亀や竜宮殿」にて JCD 新人賞
- 2006 年 第 22 回吉岡賞受賞
- 2006 年～現在 早稲田大学、同芸術学校、東京理科大学非常勤講師

